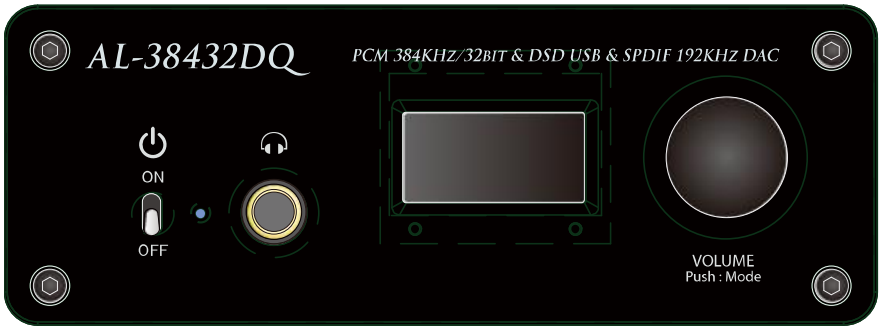
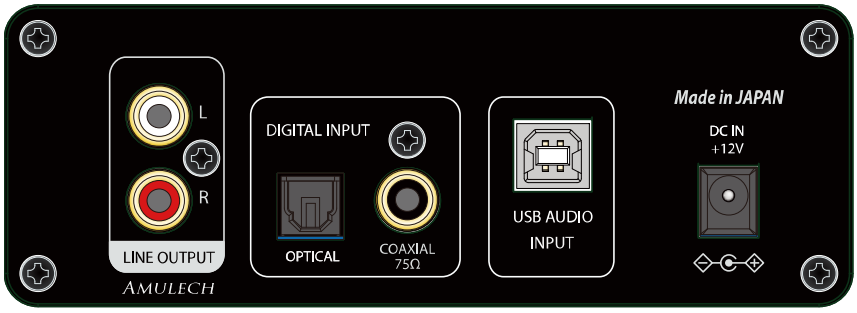
High-Resolution Audio DAC /DSD & HPA

AL-38432DQ
取扱説明書





Amulech
アムレック

目　次

AL-38432DQ 取扱説明書 1
目　次 2
安全上のご注意 4
1. 付属品の確認 7
2. 本機の特徴 8
3. 各部の名称と機能 9
3-1. フロント 9
3-2. OLED 表示内容 10
3-2-1. 通常画面 10
3-2-2. 入力選択モード 10
3-2-3. 出力選択モード 10
3-3. リアパネル 11
4. USB オーディオドライバのインストール 12
4-1. Windows パソコンの動作環境 12
4-2. Windows パソコンの場合 12
4-3. ASIO ドライバのインストール 15
4-4. MAC パソコンの場合 17
5. USB 接続時の確認方法 18
5-1. Windows Vista / 7 / 8 / 8.1 / 10 の場合 18
5-2. MAC OS X 10.6.8 以降の場合 20
6. MAC で出力サンプリングを変更する方法 22
7. 接続方法 23
7-1. DSD / USB オーディオ信号の接続 23
7-2. 光デジタル音声信号の接続 24
7-3. 同軸デジタル音声入力信号の接続 24
7-4. ヘッドホンとの接続 24
7-5. ライン出力信号の接続 (アンバランス/ステレオ RCA ジャック) 25
8. 本体での操作方法 25
8-1. 電源の ON/OFF の切替 25
8-2. ヘッドホン音量の調整（通常時） 25
8-3. モードの切替 26
9. 動作がおかしい場合 26
10. ASIO、WASAPI、DSD 再生時の注意事項 27
主な仕様 30
連絡先 32

安全上のご注意
この度は本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
安全にお使いいただくため、ご使用前に本書をかならずお読みください。また、お読みになったあとはいつでも見られるところに大切に保管してください。

■安全上のご注意

危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いを行うと生じることが想定される内容を、以下の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

警告
この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

注意
この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告
・異常な音、煙、臭いや発熱、損傷等が見つかった場合は、直ちに使用を中止し、修理をご依頼ください。
・分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部分は内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。
・水に入れたり、濡らさないでください。火災や感電の原因となります。
・濡れた手で製品に触れないでください。感電やケガの原因となります。
・強い衝撃を与えないでください。故障や感電、火災の原因となります。
・使用の際は音量を最小に絞った上で、接続および耳への装着を行ってください。突然大きな音が出て耳を痛めることがあります。
・
・必ず専用の USB ケーブルを使用してください。また、同梱の付属品を他の製品に使用しないでください。
・本製品を火やストーブなどの高温の場所(80℃以上) に置かないでください。発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
・本製品の筐体を開け、分解、改造、交換等は絶対に行わないでください。発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

注意
・以下のような場所におかないでください。
・直射日光の当たる場所　・温度の特に高い/ 低い場所　・湿気の多い場所
・ほこりの多い場所　・振動の多い場所

安全上のご注意

本機を安全にご使用いただくための注意事項が示してあります。以下の点に注意し、安全にご使用ください。

この項目での図記号には以下のような意味があります。

表示内容をご理解の上お読みください。

警告	**取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。**
注意	**取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害が発生する内容を表しています。**

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の意味

	このマークは注意（危険・警告を含む）を表しています。 具体的な注意内容は、図の中に描かれています。 左図の場合は「一般的な注意・警告・危険」を表しています。
	このマークは禁止（してはいけないこと）を表しています。 具体的な禁止内容は、図の中に描かれています。 左図の場合は「一般的な禁止」を表しています。
	このマークは強制（必ずすること）を表しています。 具体的な強制内容は、図の中に描かれています。 左図の場合は「一般的な強制」を表しています。

安全にご使用になるために以下の指示を必ず守って下さい。

警告	感電、故障の原因となりますので分解したり、改造したりしないで下さい。 修理・部品の交換などは、取扱説明書に書かれていることだけをして下さい。それ以外のことは絶対にしないで下さい。
	次のような場所での使用や保存はしないで下さい。 ○温度が極端に高い場所　（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など） ○水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所 ○ホコリの多い場所 ○振動の多い場所 ○風通しの悪い場所

	この機器に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないで下さい。	
	電源プラグは必ずAC100Vの電源コンセントに差込んで下さい。	

警告	電源ケーブルを無理に曲げたり、電源ケーブルの上に重いものを乗せたりしないで下さい。電源ケーブルにキズがつき火災の原因となります。	
	この機器をアンプ、スピーカーなどと組み合わせて使用した場合、音量の設定によっては永久的な難聴になる程度の音量が出力されます。不快な大音量で長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら直ちに使用をやめ、専門医に相談してください。	
	次のような場合は直ちに電源を切って電源ケーブルをコンセントから外し、修理を依頼して下さい。 〇電源ケーブルやプラグが破損したとき 〇異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき 〇機器が（雨などで）濡れたとき 〇機器に異常や故障が生じたとき	
	感電の恐れがありますので、濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないで下さい。	

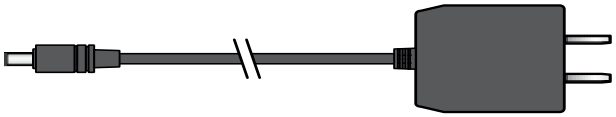
注意	この機器は風通しのよい、正常な通気がある場所に設置して使用してください。	
	電源ケーブルをコンセントから抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。	
	長時間使用しない場合は電源プラグをコンセントから外してください。	
	この機器を移動させる場合は全てのケーブルを外した状態で移動させてください。	
	ぐらついた台の上や傾いた場所への設置は避けて、平らな状態の場所に設置してください。	
	揮発性のガス（殺虫剤など）をかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させたりしないで下さい。	
	お手入れにはシンナー、ベンジンなどは使用せず中性洗剤を水で薄めたものを布に染み込ませ、固く絞って拭いてください。	

注意	USB 接続する場合、Windows Vista より前の OS（Windows 98 / Me / NT / 2000/ XP）のパソコンでは使えません。 システムエラーで OS そのものがブルーストップすることがあります。
	メニューを操作した場合、操作後すぐに電源を切らないでください。 変更されたメニューが記憶されない場合があります。

1. 付属品の確認

次の付属品がそろっていることを確認してください。

○ AC アダプタ (12V1.0A)



○ USB ケーブル（USB（A タイプ）⇔USB（B タイプ）
(USB オーディオ用)

○ 取扱説明書 (本書)

○ USB メモリ or CD-ROM

○ 保証書

上記の付属品がそろっていない場合は、お買い上げ店、または弊社までご連絡ください。

※上記以外のケーブル類は付属していませんので別途、お買い求めください。

2. 本機の特徴

●デジタル部

- 32bit に対応した DAC IC ESS ES9028Q2M を L/R を独立のモノラル対応でデュアルで搭載し L/R 分離を行い、クロストークが無く極めて高品位にハイレゾ音源を再現します。
- USB は PCM32bit/384kHz、DSD64(2.8MHz)/128(5.6MHz)11.2MHz(DSD256)までのネイティブ再生が可能で S/PDIF は光、同軸の 2 系統で PCM24bit/192kHz まで可能です。現在運用されているほとんどのハイレゾミュージックを再生できます。
- ASIO2.1/DoP に対応。専用ドライバーにより、ASIO2.1 と DoP（DSD over PCM）の両方に対応し、DSD はネイティブ再生が可能です。
- DSD ネイテブ再生では、2.8MHz（Dop/Asio 対応）、5.6MHz（Dop/Asio 対応）11.2MHz(Asioのみ対応）DSD ネイティブ 11.2MHz 再生は Windows Vista、7、8、8.1、10 Asio のみの対応。
- MAC OS 10.6.8 以降では 2.8MHz(DSD64),5.6MHz (DSD128))は DoP 方式に対応できますが、DoP 方式による 11.2MHz(DSD256)は対応できません。
- AL-38432DQ に内蔵した、2 系統の独立したクロックで制御するアシンクロナス・モード（非同期モード）を採用。44.1/88.2/176.4/352.8kHz、DSD2.8/5.6MHz/11.2MHz 及び、48/96/192/384kHz の 2 系統のクロックを変換することなく DAC へ転送できます。
- USB Audio Class 2.0 に対応し、32bit/384kHz をビットパーフェクトの状態で再生できます。※32bit は Windows8 以降で対応しています。

●アナログ部、入出力、電源など

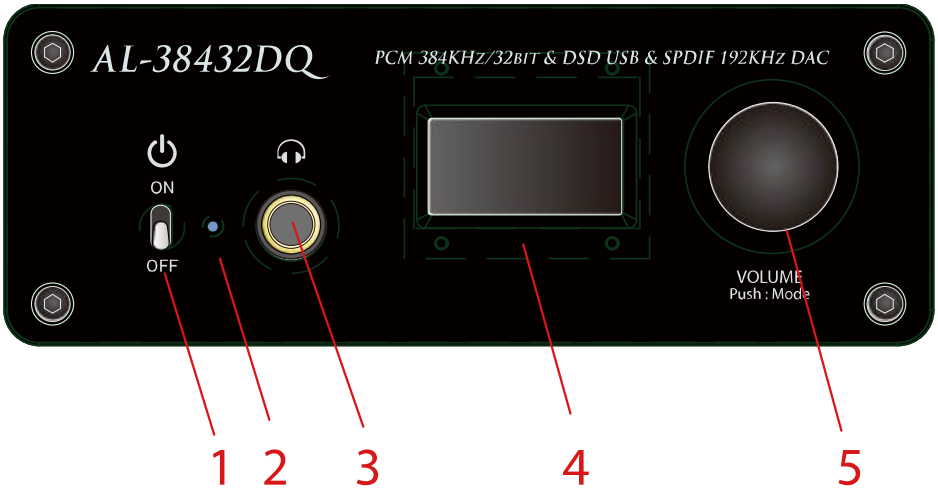
- ヘッドホンでは 64 ステップのデジタルボリュームを搭載。左右の音量差（ギャングエラー）が極めて少なく、どの音量でも高音質が楽しめます。
- ライン出力を装備。高品位なコンポーネントと接続することで、メインの試聴機としても活躍します。
- 16～250Ω の幅広いヘッドホンインピーダンスに対応し、小型ながら 130mW+130mW(32Ω)の出力が可能です。
- スイッチノブが上で電源が入ります。付属の AC アダプタで電源を供給して使用できます

●筐体、仕上げ

- アルミニウム押し出し材による高級感あふれる筐体。
- 軽量ながら高い剛性を備えたアルミニウム削り出しを採用。

3. 各部の名称と機能

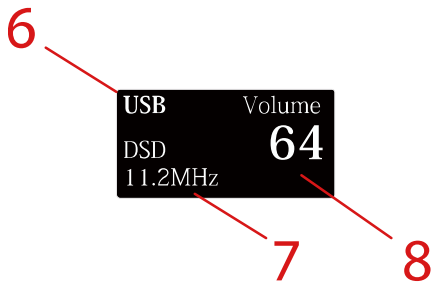
3-1. フロント



1	電源スイッチ	ON にすると電源が入ります。OFF で切れます。
2	電源 LED	電源スイッチを ON にし、電源+12V 入力されると点灯します。
3	ヘッドホン端子	出力端子は 6.3mm ステレオ標準ジャック用です。
4	OLED	通常は選択されているデジタル入力、ヘッドホン出力ボリューム値、入力サンプリング周波数が表示されます。 また、入力選択モード・出力選択モードの各モードに応じた選択メッセージを表示します。
5	ボリューム及び 選択モード切替え	●ロータリーエンコーダ電子ボリュームによりヘッドホン出力の調整ができます。 ●スイッチを押すことで順に入力選択モード、出力選択モード、通常モードへとモードの切換えが行えます。

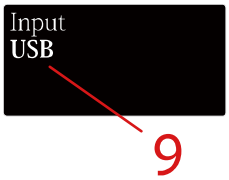
3-2. OLED 表示内容

3-2-1. 通常画面



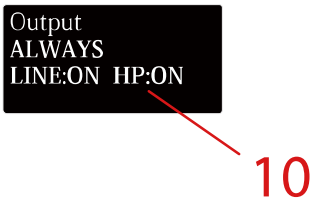
6	選択デジタル入力	OPT（光入力）、COAX（同軸入力）、USB の選択された入力が表示されます。
7	入力信号	入力信号の種別 DSD または PCM、サンプリング周波数が表示されます。無信号の場合や認識できない入力信号の場合は何も表示されません。
8	ヘッドホン出力ボリューム値	ヘッドホン出力ボリューム値が 0（最小）～64（最大）の 65 ステップで表示されます。

3-2-2. 入力選択モード



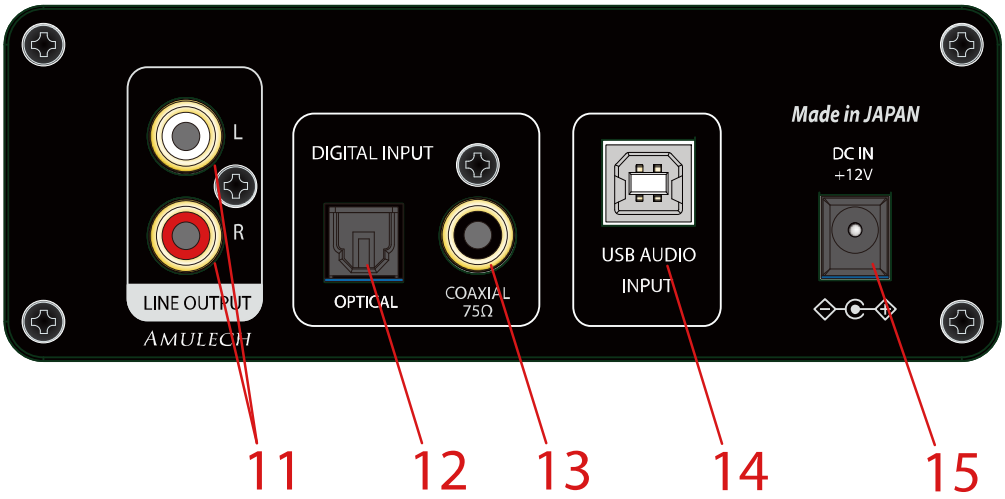
9	選択デジタル入力	ボリュームつまみを右に回すと OPT（光入力）、COAX（同軸入力）、USB の順に選択表示されます。左に回すと逆順に選択表示されます。

3-2-3. 出力選択モード



10	選択出力	ボリュームつまみを右に回すと ALWAYS LINE ON: HP:ON （常にライン、ヘッドホンとも出力）、 ALWAYS LINE OFF: HP:ON（常にライン出力オフ、ヘッドホン出力オン）、 ALWAYS LINE ON: HP:OFF（常にライン出力オン、ヘッドホン出力オフ）、 HP PLUG IN AUTO DETECT（ヘッドホン挿し込むとライン出力オフ） の順に選択表示されます。左に回すと逆順に選択表示されます。

3-3. リアパネル



11	LINE OUTPUT	RCA コネクタ アナログオーディオ出力 OCL（アウトプット・キャパシタ・レス） 2Vrms 出力
12	OPTICAL	光デジタル 角形ジャック入力 32KHz～192KHz / 16bit/24bit 入力
13	COAXIAL	同軸デジタル入力 32KHz～192KHz / 16bit/24bit 入力
14	USB AUDIO	パソコンからの USB オーディオ と DSD 信号を入力
15	DC IN +12V	+12V：付属の AC アダプタにより、電源を供給します。

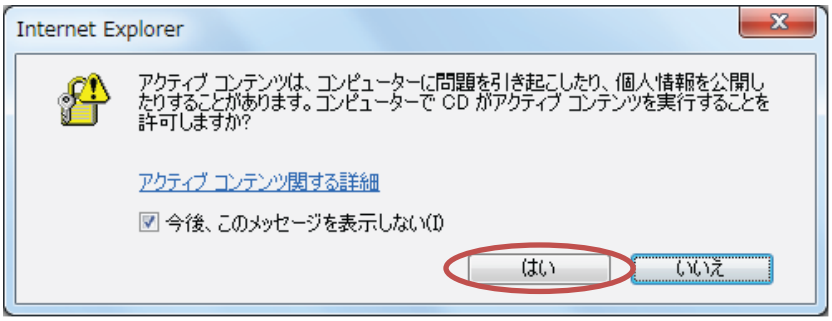
4. USB オーディオドライバのインストール

4-1. Windows パソコンの動作環境

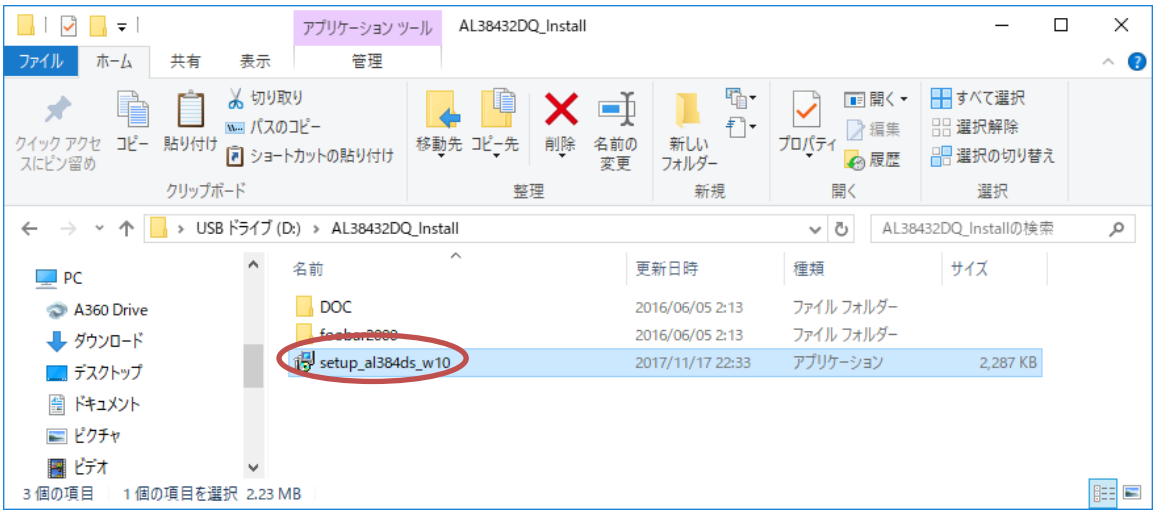
CPU	Core 2 Duo 1.8GHz 以上 / i3 / i5 / i7 （「Pentium」「Celeron」等の CPU では使用できません。）
メモリ	3GB 以上
VGA	1024×768, True Color (24bit) 以上
HDD	50MB 以上の空き容量 (インストール時には 240MB 以上の空き容量が必要です)
対応 OS	Windows Vista / 7 / 8 /8.1/ 10 (32bit/64bit 対応) ※管理者権限が必要です。
その他	・USB 2.0 が使用できる環境 ・インターネットに接続できる環境

4-2. Windows パソコンの場合

Windows Vista / 7 / 8 / 8.1 / 10 (32bit / 64bit 対応) のパソコンでは専用ドライバのインストールが必須です。
ダウンロードし解凍したフォルダや CD,USB メモリのフォルダ で開くと、以下の画面が表示されます。
下記のようなウィンドウが表示された場合は、**[はい]** をクリックして下さい。

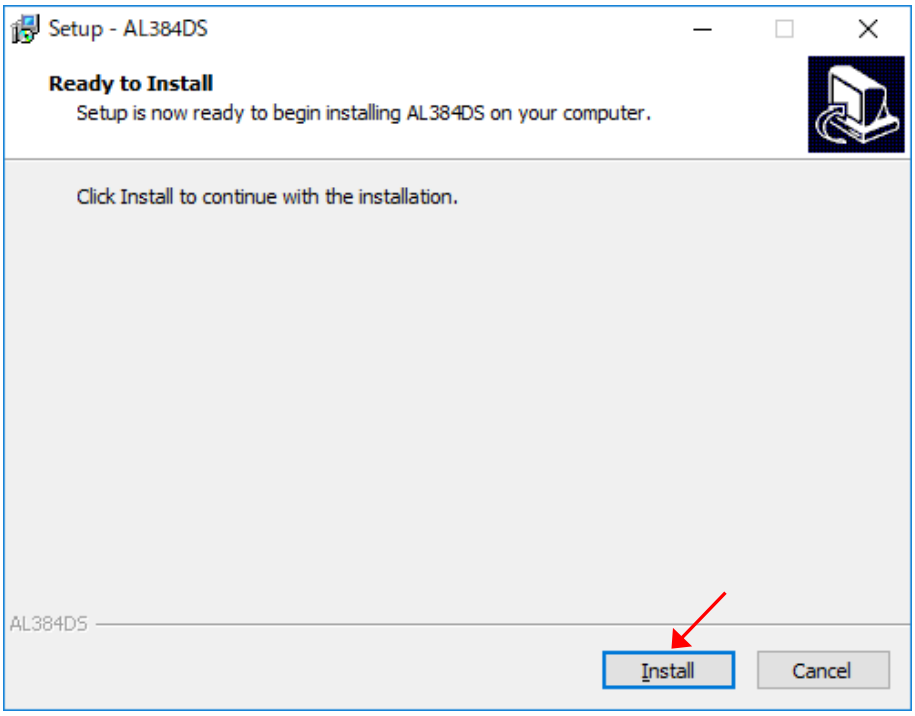


以下の setup_al384ds_w10 を実行してください。



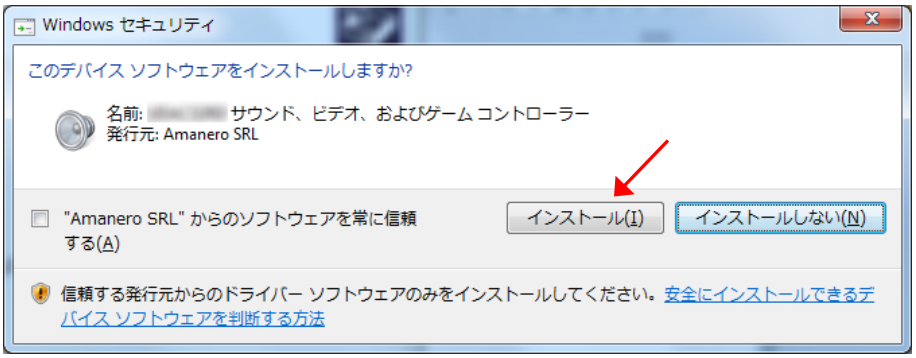
※AL-38432DQ と PC を USB ケーブルで繋がないで実行して下さい。

Setup 画面が起動したら［**Install**］ボタンをクリックして下さい。



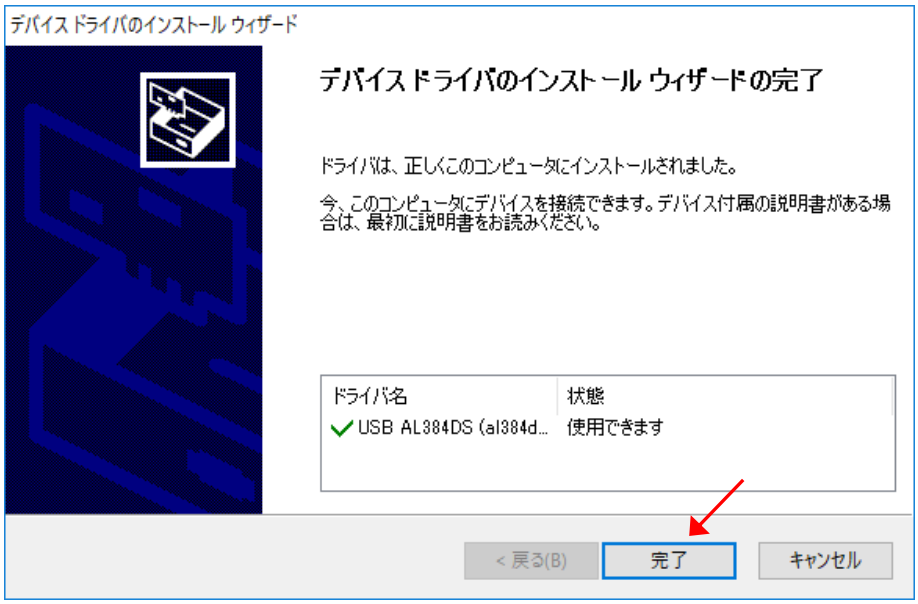
インストールウィザードが起動したら［**次へ(N)>**］ボタンをクリックして下さい。

次の画面が表示された場合は、［**インストール**］ボタンをクリックします。



Windows Vista / 7 / 8 / 10 の場合、途中で「ユーザーアカウント制御」等の警告が表示されたら「**許可**」または［**続行**］、［**次へ**］をクリックして下さい。

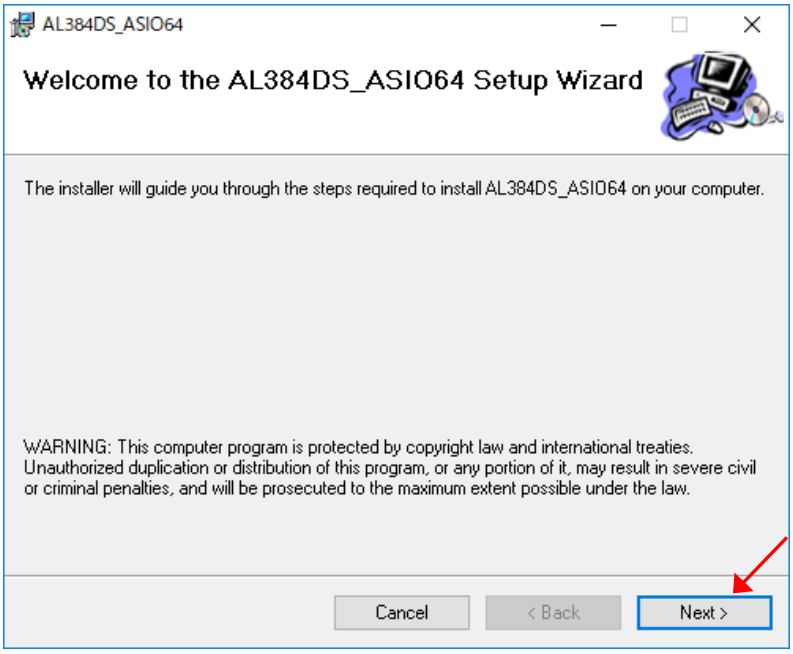
しばらくするとドライバのインストールが完了しますので［完了］を押してください。



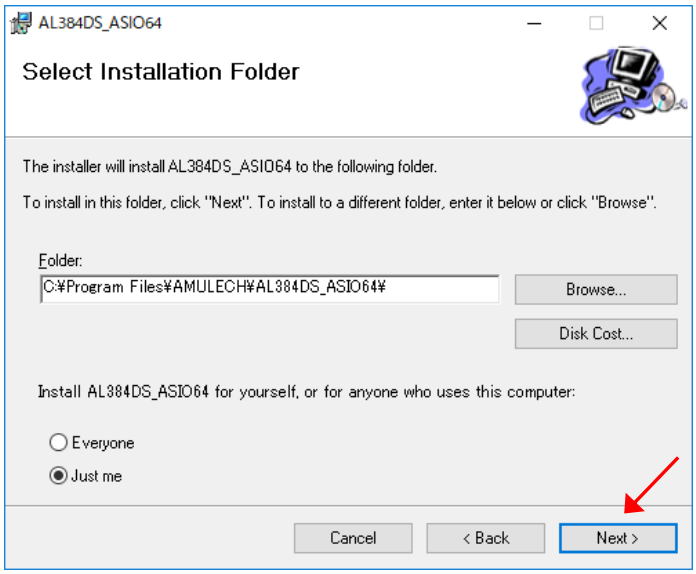
4-3. ASIO ドライバのインストール

引き続き、ASIO ドライバのインストールが自動で起動します。
画面の表示上は 32bit 版 OS では「AL384DS_ASIO32」、64bit 版 OS では「AL384DS_ASIO64」となります。

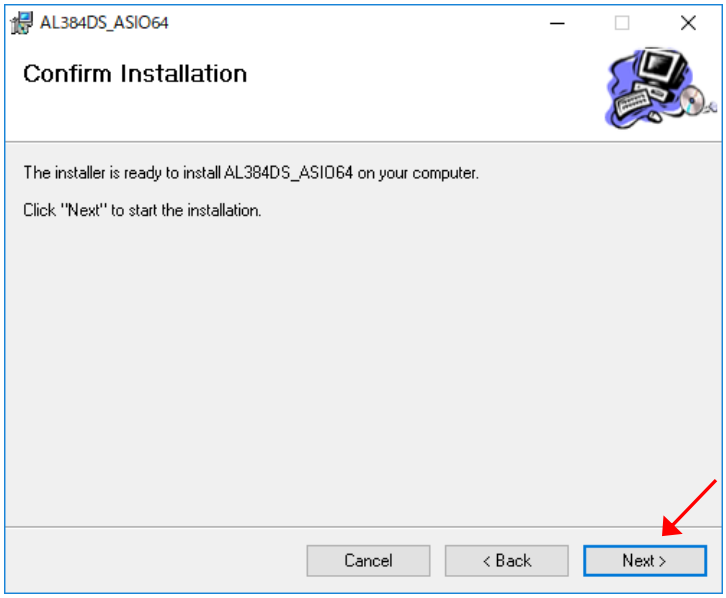
Setup 画面が起動したら［**Next>**］ボタンをクリックして下さい。
［**Next>**］ボタンをクリックした後、何回か画面が切り替わりますが、［**Next>**］ボタンを押してインストールを進めて下さい。途中で「ユーザーアカウント制御」等の警告が表示されたら「**許可**」または［**続行**］、［**OK**］、［**次へ**］をクリックしてインストールを進めて下さい。



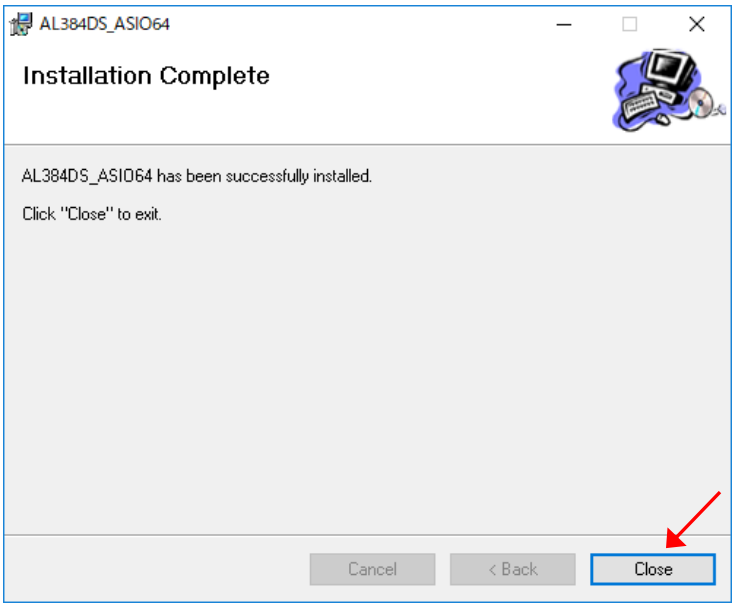
以下の画面が表示されたら、［**Next>**］ボタンを押してください



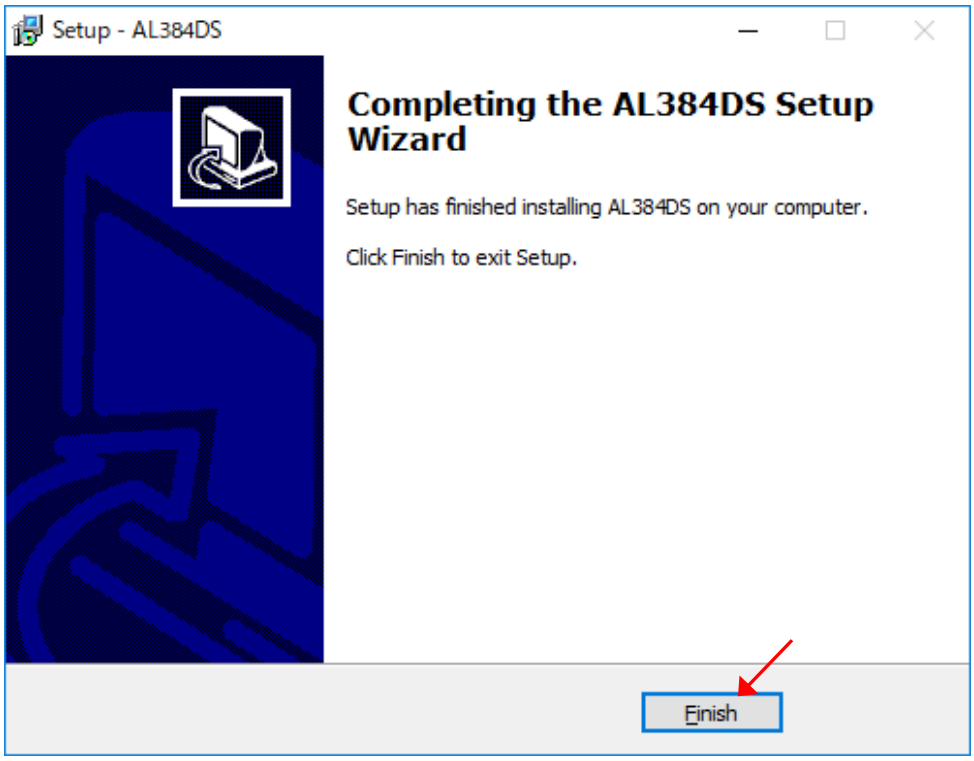
以下の画面が表示されたら、[**Next>**]ボタンを押してください。



以下の画面が表示されたら、[**Close**]ボタンを押して ASIO ドライバのインストールは終了です。



最後に以下の画面が表示されますので、[**Finish**]ボタンを押して終了させてください。



この画面の終了後に AL-38432DQ とパソコンを USB ケーブルで接続すると、AL-38432DQ が認識されます。

4-4. MAC パソコンの場合

MAC の場合は、OS 10.6.8 以降の OS 標準ドライバにて動作しますので、「7-2. USB オーディオ信号の接続」を行い、USB ケーブルで接続すると MAC OS が自動で認識して使用可能になります。

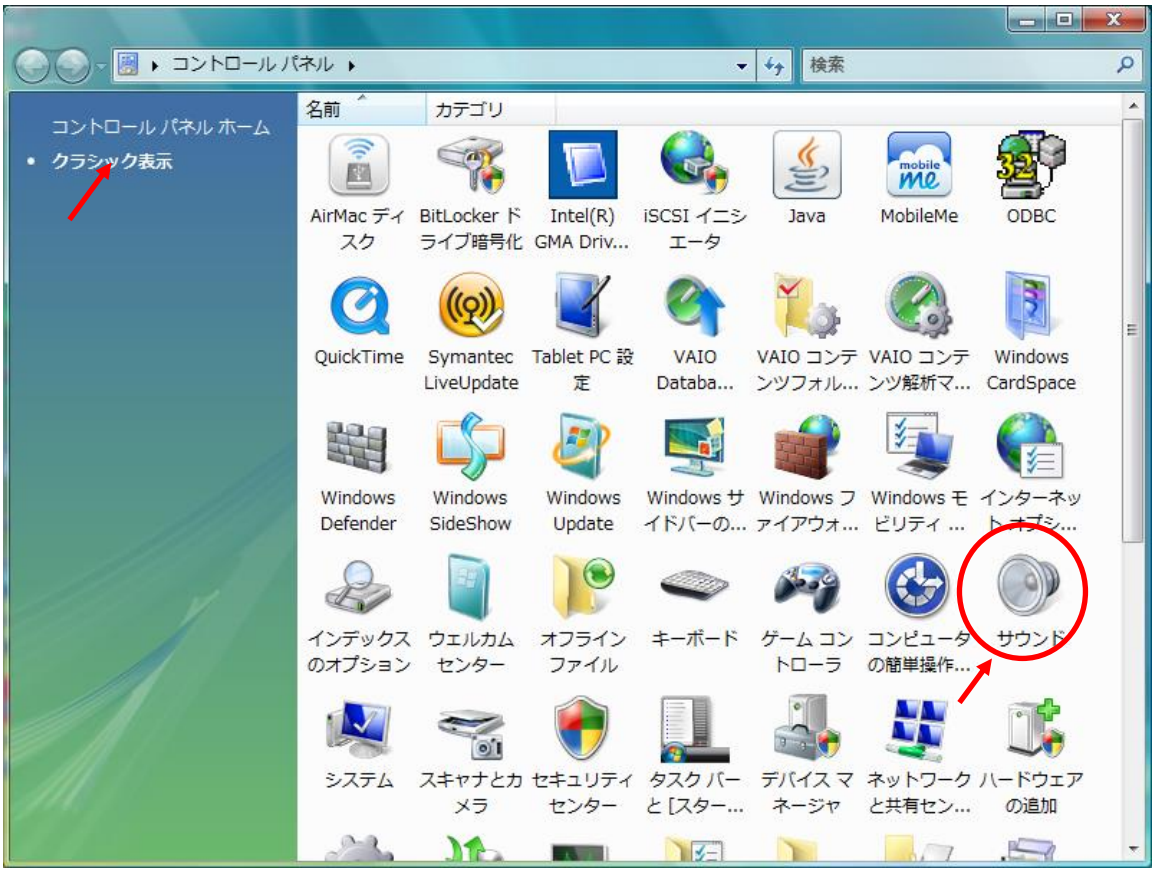
5. USB 接続時の確認方法

本機はパソコンに USB 接続し、Windows Vista 以降では専用ドライバの使用にて、MAC の場合は OS Ver10.6.8 以降の OS 標準ドライバにて USB オーディオデバイスとして認識されます。
なお Windows Vista / 7/ 8 / 8.1 / 10 では ASIO および WASAPI にも対応しています。
※Windows XP および前の OS（Windows98/Me /NT/2000）では動作しません。
　システムエラーで OS そのものがブルーストップしますのでご注意下さい。

5-1. Windows Vista / 7 / 8 / 8.1 / 10 の場合

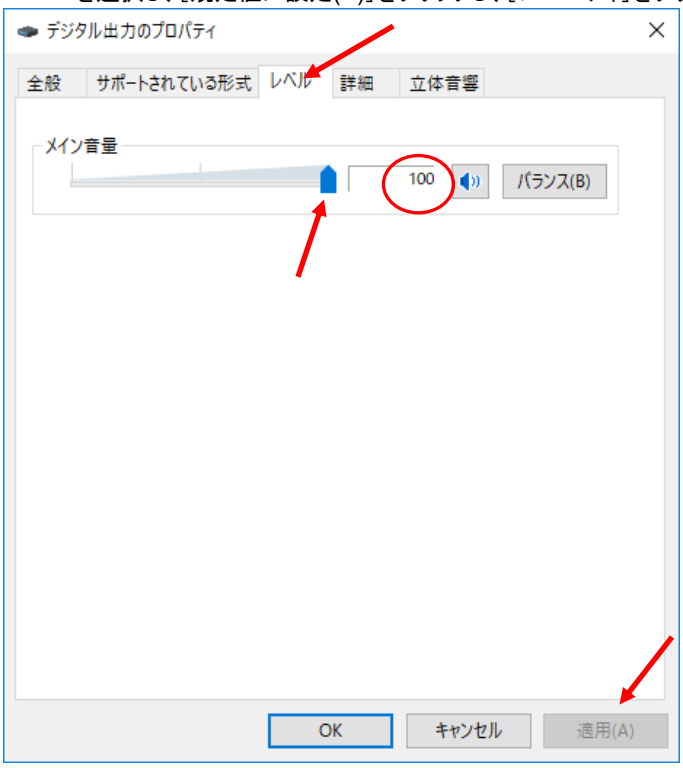
ドライバがインストールされ本機が正常に使用できる状態になったかは以下の手順で確認します。

[スタート]→[コントロールパネル]でコントロールパネルを開きます。



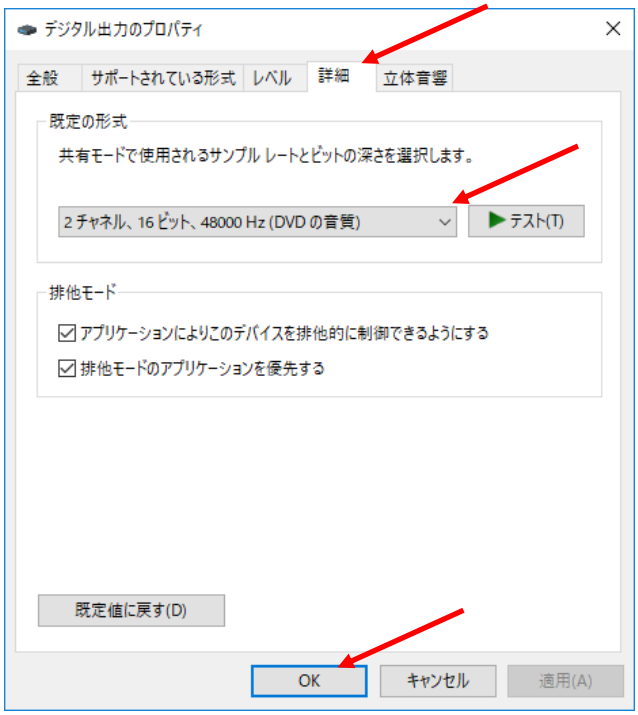
[クラシック表示]または表示方法を「大きいアイコン」にして[サウンド]をクリックします。
Windows10 では「スタート」→「コントロールパネル(C)」→「サウンド」をクリックします。

[再生]タグを開き AL384DS USB Driver が認識されていれば使用可能です。
AL384DS USB Driver を選択し、[規定値に設定(S)]をクリックし、[プロパティ]をクリックします。



なお[レベル]タグでは音量のスライダーを右に最大(100)にして下さい。
音量微調整は Windows Media Player 等の再生ソフト側で行って下さい。

また、Windows Media Player 等の標準アプリケーションは[詳細]の既定の形式で設定された値になりますので必要に応じて変更して下さい。

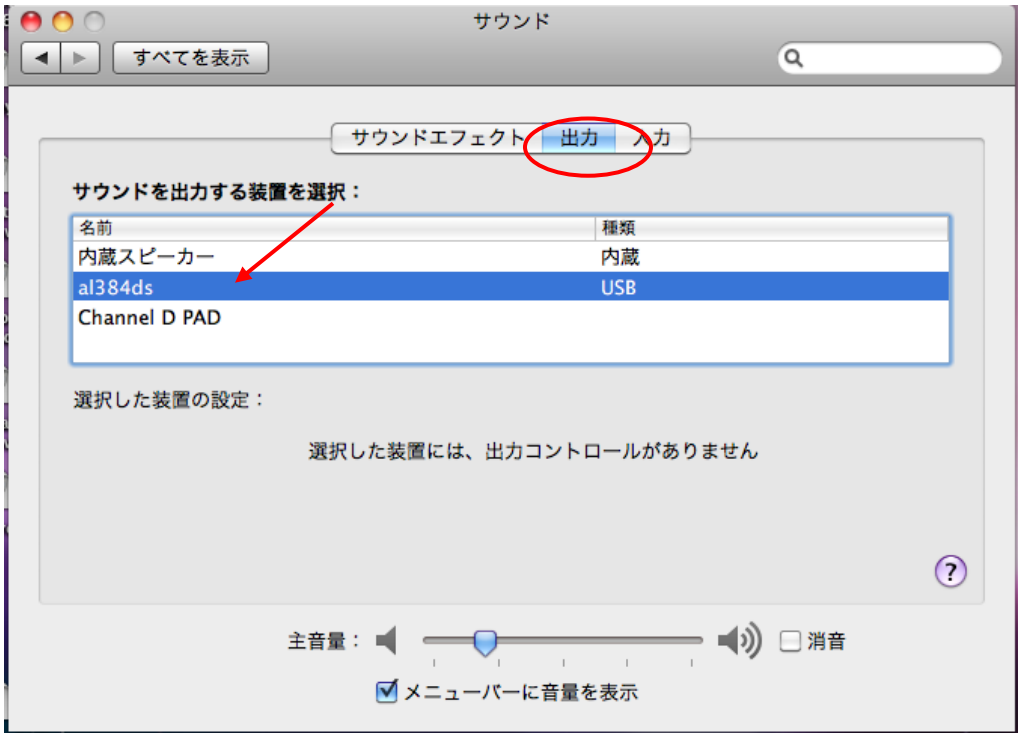


5-2. MAC OS X 10.6.8 以降の場合

「アップルマーク」→「システム環境設定」を開きます。または、「アプリケーション」内の「システム環境設定」をダブルクリックします。

「システム環境設定」が開いたらハードウェアの「サウンド」をダブルクリックします。

「サウンド」の「出力」を選択し、「al384ds」を選択します。
ここで「al384ds」が表示されない場合は、USB ケーブルが接続されていない可能性がありますので、配線などを再確認してください。

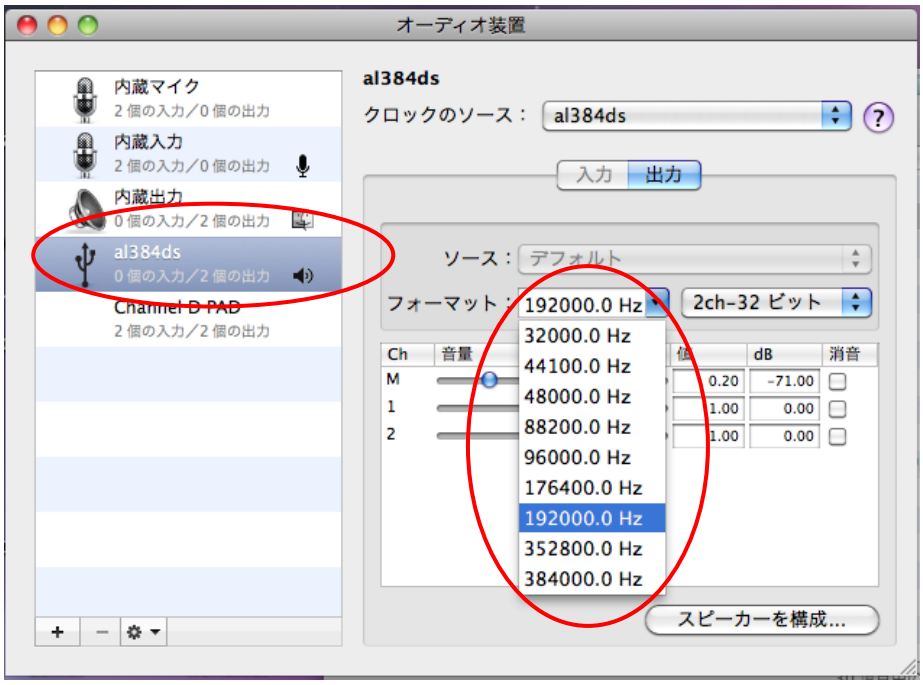


6. MAC で出力サンプリングを変更する方法

MAC OS では OS 標準の USB オーディオドライバを使用して動作しますが、出力されるサンプリング周波数は固定となります。
音源のサンプリング周波数と、出力のサンプリング周波数が合っていないと音質が劣化する場合があります。
この場合、下記の手順で出力サンプリング周波数を変更してください。

左図の手順で「Audio MIDI 設定」を開きます。

Finder → アプリケーション →
ユーティリティ → Audio MIDI 設定

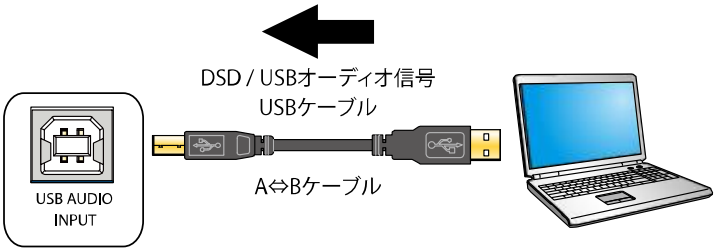


「オーディオ装置」というウィンドウが開きます。
左の装置一覧から「al384ds」を選択し、
右の「フォーマット」から出力サンプリング周波数を選ぶことが出来ます。

7. 接続方法

7-1. DSD / USB オーディオ信号の接続

パソコンの USB 端子と本機の USB コネクタとを接続します。
USB 接続する場合、Windows XP より以前のパソコンでは使えません。システムエラーで OS そのものがブルーストップしますのでご注意下さい。
MAC OS は OS 10.6.8 以降の OS 標準 USB ドライバにて動作します。



入力可能オーディオ信号		
USB オーディオ	対応サンプリング	44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 / 352.8 / 384KHz 自動検出
	対応音声フォーマット	ステレオ・リニア PCM
	対応ビット長	16 / 24 / 32bit (※32bit は Windows8/8.1/10 以降のみ)
DSD	対応周波数	2.8MHz (DSD64) 、5.6MHz (DSD128)、11.2MHz(DSD256)
	対応音声フォーマット	DSF フォーマット、DFF / DIFF (DSDIFF) フォーマット

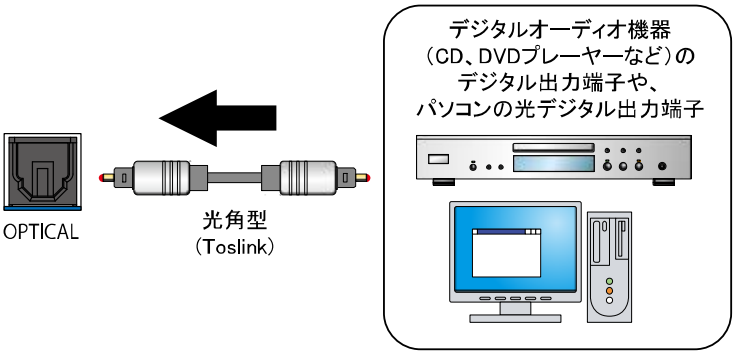
DSD ネイティブ再生について

Foobar2000 (Windows) や Audirvana Plus (MAC) などの DSD 対応の音楽プレーヤーを使用することで、DSD ネイティブ再生を可能にします。
※音質や POP ノイズなどは各プレーヤーに依存しますので、操作方法は各プレーヤーの説明書などを参照してください。

※付属の USB ケーブル以外の USB ケーブルで接続する場合は、必ず USB2.0 規格に対応したケーブルをご使用ください。
※USB ケーブルは付属の 1.8m または 1.8m（180 ㎝）以内のケーブルをご使用ください。
1.8m 以上ありますと誤動作の原因になります。

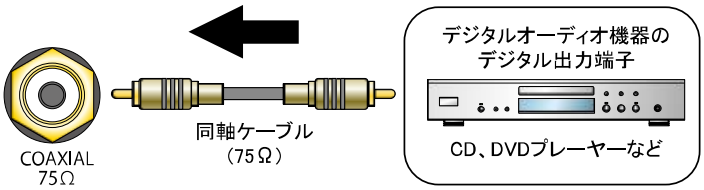
7-2. 光デジタル音声信号の接続

デジタルオーディオ機器（CD,DVD プレイヤーなど）の光デジタル出力信号からの信号を「DIGITAL INPUT」の「OPTICAL」と接続します。また、パソコンに光デジタル出力端子がある場合も接続可能です。
（AL-38432DQ が受け取れる信号はステレオ・リニア PCM です。AC3 や 5.1ch などには対応していません。）



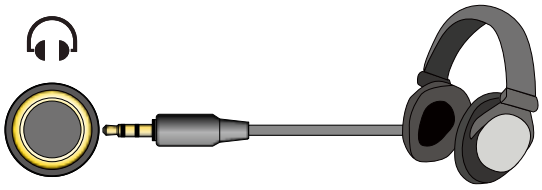
7-3. 同軸デジタル音声入力信号の接続

デジタルオーディオ機器（CD,DVD プレイヤーなど）の光デジタル出力信号からの信号を「DIGITAL INPUT」の「COAXIAL」と接続します。また、パソコンに光デジタル出力端子がある場合も接続可能です。
（AL-38432DQ が受け取れる信号はステレオ・リニア PCM です。AC3 や 5.1ch などには対応していません。）



7-4. ヘッドホンとの接続

ヘッドホン端子にヘッドホンまたはイヤホンを接続します。
ステレオ標準プラグ（ø6.5）のヘッドホンでインピーダンスが 16Ω ~ 300Ω のものを接続してください。



※ヘッドホンは付属していませんので、別途ご購入下さい。

7-5. ライン出力信号の接続 (アンバランス/ステレオ RCA ジャック)

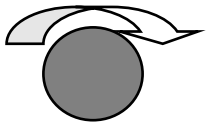
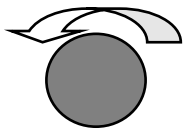
本機に入力されたデジタルオーディオ信号が D/A (Digital-to-Analog) 変換され、アナログ信号 (ラインレベル(2Vrms)) が出力されます。アナログ入力のある D 級アンプや A 級アンプなどと接続します。

8. 本体での操作方法

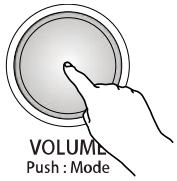
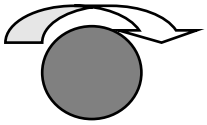
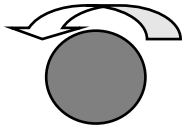
8-1. 電源の ON/OFF の切替

1	**下側が電源オフで** **上側が AC アダプタ電源供給オンです。**	

8-2. ヘッドホン音量の調整(通常時)

1	右回りに回すとヘッドホン音量が大きくなります。	
2	左回りに回すとヘッドホン音量が小さくなります。	

8-3. モードの切替

1	ボリュームつまみを押すと 入力選択モード、出力選択モード、通常画面と 順に切り替わります。 入力、出力選択モード時に5秒以上何も操作しないと 通常画面に自動で戻ります。	
2	右回りに回すと入力選択モード時に入力が切替わり ます。出力選択モード時に出力が切替わります。 詳細は 3-2-2. 及び 3-2-3. 項を参照してください。	
3	左回りに回すと逆順で切替わります。	

9. 動作がおかしい場合

●音が出ない、ほとんど聞こえない

◇各機器同士が正しく接続されているか確認する。
◇本機と接続した機器の電源が入っているか確認する。
◇接続機器のボリューム値が最小レベルになっていないか確認する。
◇パソコンからの出力の場合、サウンドとオーディオのプロパティが適切に設定されているか確認する。また、メディアプレーヤー等再生ソフトの出力先の設定も確認する。

●パソコンから音源を出力する時、音飛び等のノイズが発生する場合。

AL-38432DQ は USB2.0 High-Speed (最大 480Mbps) の高速でパソコンと通信を行いますので、他に USB 機器が接続されている場合や CPU 負荷が重い場合、本機への帯域が不足し、ノイズ (ブツ、ブツ) や音飛び等がまれに発生する場合があります。
ノイズや音飛びは発生する場合は、AL-38432DQ 以外の USB 機器を取り外して動作させてください。

◇下記のような場合にノイズや音飛びがまれに発生する場合があります。
●音楽プレーヤー以外のソフトウェアがバックグランドで動作している場合。
●USB ポートに複数の USB 機器を接続している場合。
●ハードディスク内が乱雑になっている場合。この場合ディスクのクリーンアップをしたり SSD や外部メモリから再生するようにすると改善される場合があります。
●USB ケーブルで機器が認識しない場合は,USB ハブを使用することで認識することがあります。

● USB ケーブルでの不具合等

◇USB 延長ケーブルでのご使用は避けてください、機器の動作が不安定もしくは動作しないことがあります。
◇付属の USB ケーブル(約 1.8m)でご使用ください。

●本体の電源ランプが点灯しない

◇POWER スイッチ（上側）で AC アダプタの接続（本体側、AC コンセント側）が正しいか確認する。

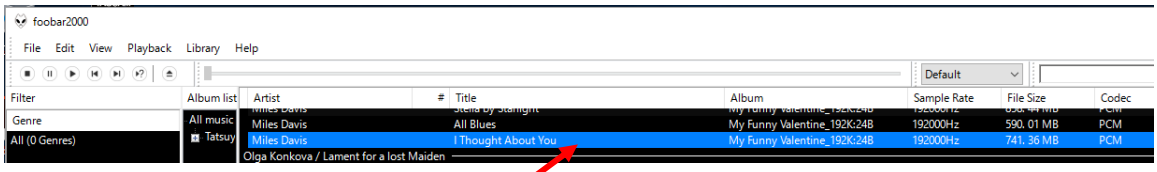
10. ASIO、WASAPI、DSD 再生時の注意事項

◇ASIO、WASAPI の使い方については各音楽プレーヤーに依存しますので、各音楽プレーヤーのホームページや取扱説明書、ヘルプなどを参照してください。

◇DSD ネイティブ再生は DSD 対応の音楽プレーヤー (Windows: Foobar2000 など、MAC: Audirvana Plus など) を使用することで可能になります。
音質や POP ノイズなどは音楽プレーヤーに依存しますので、各音楽プレーヤーのホームページや取扱説明書、ヘルプなどを参照してください。

◇音楽プレーヤーで演奏中に USB のケーブルを抜かないで下さい。OS そのものがエラーとなりストップする場合やノイズが出る場合があります。
USB ケーブルを抜く場合は、音楽プレーヤーの演奏を停止し、さらにアンプの電源を OFF にしてから抜いてください。

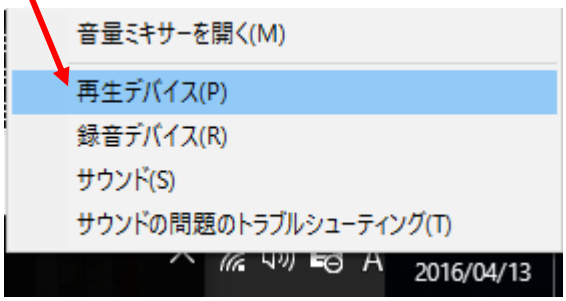
◇DSD 再生終了後、Youtube の再生やエクスプローラを操作する時にノイズが出る場合がありますのでその時は、下例のように PCM 再生をしてから終了させて、さらにサウンドのプロパティで「テスト」をしてから Youtube の再生やエクスプローラを操作してください。



Foobar2000 で PCM の楽曲再生

デスクトップ画面右下のスピーカーマークを右クリックします。

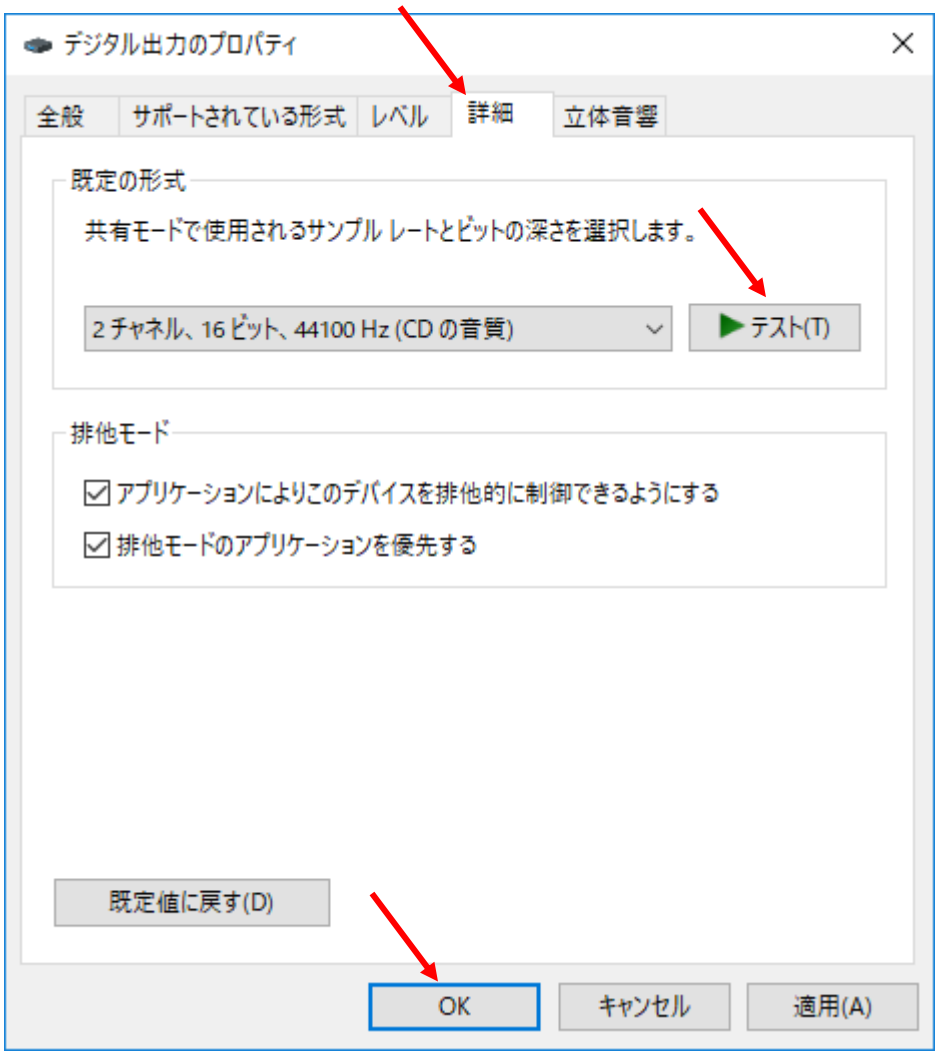
「再生デバイス(P)」をクリックします。



「デジタル出力 AL384DS USB Driver 」を選択し「プロパティ(P)」をクリックします。

サウンド
再生
録音
サウンド
通信
下の再生デバイスを選択してその設定を変更してください:
SPDIF Out
2- BC USB DAC
既定のデバイス
デジタル出力
AL384DS USB Driver 1.0.62
準備完了
スピーカー
Realtek High Definition Audio
準備完了
スピーカー
USB Audio
準備完了
構成(C)
既定値に設定(S)
プロパティ(P)
OK
キャンセル
適用(A)

「詳細」タグをクリックし、「テスト(T)」をクリックし、テストを実行します。



テスト実行後「OK」をクリックしていきプロパティを閉じます。

主な仕様

周波数特性	PCM：10Hz～80kHz(±0.5dB)、 DSD：10Hz～50kHz(-3dB)
全高周波歪率	0.002%以下（384KHz/0dB）
ライン出力レベル	2Vrms（アンバランス／OCL）DC 出力
ライン出力端子	ステレオ RCA ジャック (アンバランス)
THD+N	120dB
ダイナミックレンジ	129dB
使用 DAC	「ES9028Q2M」デュアル搭載（L/R 分離） PCM 最大 384KHz/32bit、DSD2.8M：5.6M：11.2M
水晶発信器	24.576MHz（48KHz 系統用）、22.5792MHz（44.1KHz 系統用） TCXO
S/PDIF デジタル入力対応 サンプリング	OPTICAL：32～192KHz 16/24bit　ステレオ・リニア PCM COAXIAL：32～192KHz 16/24bit　ステレオ・リニア PCM
USB 対応サンプリング	PCM：44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 / 352.8 / 384KHz 16/24/32bit　※ PCM 32bit は Windos8/8.1/10 以降のみ
	DSD：2.8MHz (DSD64)、5.6MHz (DSD128)、11.2MHz(DSD256)
対応 OS	Windows Vista、7、8、8.1、10　(専用ドライバ付属)
	MAC OS 10.6.8 以降 (OS 標準ドライバで動作)
入力可能 PCM データ	ステレオ・リニア PCM
入力可能 DSD データ	DSF フォーマット、 DFF / DIFF (DSDIFF) フォーマット
Windows DSD ネイティブ再生 ASIO/DoP 対応につて	DSD：2.8MHz（DoP/ASIO 対応）、5.6MHz（DoP/ASIO 対応） 11.2MHz(ASIO のみ対応） DSD ネイティブ 11.2MHz 再生は Windows Vista、7、8、8.1、10 ASIO のみの対応となります。
MAC OS 10.6.8 以降 DSD 再生 DoP 方式について	2.8MHz(DSD64),5.6MHz (DSD128))は DoP 方式に対応できますが、11.2MHz(DSD256)は対応できません。
ヘッドホン IC	TPA6130A2（電子ボリューム対応）
ヘッドホンコネクタ	6.3mm ステレオ標準ジャック
ヘッドホンインピーダンス	16～250Ω
ヘッドホン周波数特性	10Hz～30KHz（±0.5dB,50mW 時、16Ω負荷）
ヘッドホン全高周波歪率	0.01%以下（59mW/32Ω）
最大ヘッドホン出力	130+130mW(32Ω)、65+65mW（64Ω）、35+35mW（250Ω）
電源	DC12V（AC アダプタ付属）
消費電流	120mA
コネクタ	6.3mm ステレオ標準ジャック、ステレオ RCA ジャック、 光角形 Toslink 端子、RCA 同軸端子、USB-B ソケット
外形寸法	W144×D127×H53mm（突起部含まず）、
重量	約 630g
付属品	AC アダプタ（12V1.0A）、 USB メモリ、 取扱説明書、保証書

※　商品改良の為、仕様・製品内部ボード及びファームウェアー・外観等を予告なく変更することがあります。ご了承下さい。

Amulech　アムレック

本　　社　　新潟県上越市中郷区二本木 886-2　　〒949-2304

TEL：　0255-78-7870　FAX：　0255-78-7870

ホームページ　http://www.amulech.com

注文メール　order@amulech.com

質問メール　inquiry@amulech.com

AL-38432DQ 201903　Rev3.0